

## 適水Ⅰ

「5～8回操業したらウォーミングアップ終了、漁場を移動するよ。」という船長さんが操業開始の時に言っておられたとおり、6回目の操業を終えた1月31日（船内時）に適水となりました。「適水」とは、新しい漁場を目指して移動することです。この移動の間は操業がないので、当直と食当以外の生徒に作業はありません。操業から解放されてゆっくりできる時間です。生徒達はそれぞれの部屋で過ごしているらしく、生徒食堂ではあまり姿を見ませんでした。十分体を休め7回目からの操業に備えているようでした。

## 操業Ⅱ

神海丸に乗船してしばらくするとある現象が起こります、それは曜日の感覚が無くなることです。学校では時間割があり、それぞれの曜日で授業科目が違います。家に帰ればテレビ番組も決まった曜日に決まった番組があります。しかし、船ではそんなものは全くないので、曜日の感覚が無くなってしまいます。操業中の生徒に「今日は何曜日でしょうか？」と質問すると、ほとんどの生徒から（全員と言ってもいいと思います）「えっ、わかりません。」という答えが帰ってきます。かろうじて今日が何日か答えられる程度です。生徒たちはこのような環境で生活しています。このように変化の乏しい日々ですが、操業も10回目が近くなり、作業ローテーションが一回りする頃には生徒たちもかなり操業に慣れてきました。見えないところで専攻科生が助けてくれているお蔭で、船員さんに注意されることも減ってきています。もう少しすれば自分からどんどん動けるようになるでしょう。学校の実習では、何か月かかってもできなかったことが、神海丸では数日でできるようになります。恐るべし神海丸、恐るべし実習船教育です。



ある日の昼食メニューです。白身魚のフライ、ゆ

で卵と野菜、ハヤシライス、バナナでした。現在は食欲旺盛で、朝食、昼食夕食・夜食と1日4食という強者もいます。



夕暮れ時の操業風景です。とても綺麗な夕焼け

でした。揚縄①班は昼間から夜に移る時間帯で、確実に時間が経っているのを感じます

島根県立隠岐水産高校の指導教官の八幡洋介先生（38歳）です。浜田水産の本科生、専攻科生ともにお世話になっています。隠岐水産では、海洋システム科テクノコースに所属しておられ、部活動は柔道部の顧問です。隠岐水産で最も操船が上手な先生です。



## 節分

今日は2月3日、節分の日です。 神海丸では恒例の豆まきを行います。揚縄を開始する少し前に全員、船首部の作業甲板に集合し、我々が担任であり主教官の高橋先生から「神海丸の大漁祈願を願い『鬼は外、福は内』マグロを追い回す『シャチは外、バチは内』として、メバチマグロを沢山呼び込めるように願かけを行いましょう」と挨拶の後、清水船長がコンパスデッキから豆とお菓子を撒いて豆まきが始まりました。ちゃんと鬼の役もいて、浜田水産機関専攻科の渡邊颯斗君が馬の被り物を被って鬼代わりになりました。生徒達は、豆には目もくれず、清水船長が撒いたお菓子を嬉しそうに GET していました。乗組員や我々指導教官は神事に則って歳の数だけ豆を黙々と食べていました。歳の数だけ豆を食べるのも辛いものです^^



馬の被り物を被り、鬼の役をしていて

るのは、我々が浜田水産高校の先輩、機関専攻科の渡邊颯斗君です^^



清水船長が船上のコンパス甲板より豆とお

菓子を撒いて豆まきが始まりました^^ 「シャチは外、バチは内」です



船橋でをい航海専攻科そして

本科生も豆とお菓子を撒きます。